

平成29年6月2日

第24回復興推進委員会
報告資料

民営化後の仙台空港を核とした 地域振興について

宮城県知事 村井 嘉浩



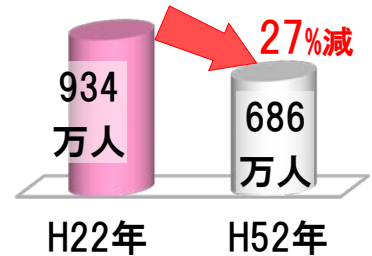
仙台空港民営化の背景

東北地方の定住人口の大幅減少が予測される

平成52年の東北の定住人口は、
現在の4分の3まで減少(減少率は全国最大)

「交流人口の拡大」で補うしか打開策なし

東北の将来人口推計

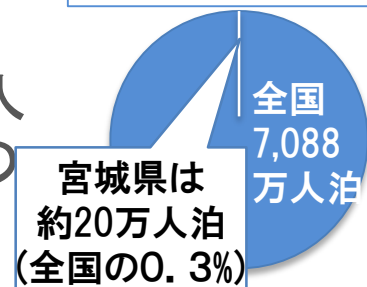


出典: 国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(H25年3月推計)」

外国人観光客及び中部以西からの誘客が課題

日本への外国人観光客
が増加を続ける中、
宮城県を訪れる外国人
観光客は、日本全体の
わずか0.3%

外国人延べ宿泊数

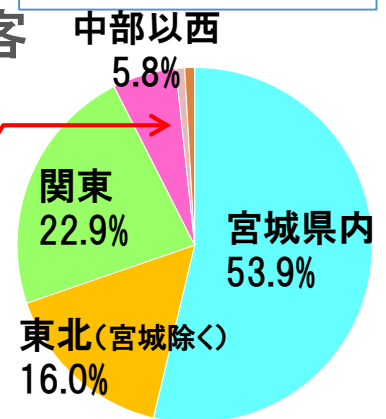


出典: H28年 観光庁宿泊旅行統計調査

宮城県を訪れる観光客
の9割超が東北・関東
地方の居住者であり、
中部以西は5.8%

宮城県の誘客範囲

中部以西・外国等
合わせても1割未満



出典: H24年度 宮城県観光動態調査

海外・中部以西からの航空旅客の誘客が必要

民営化の狙い

“東北再興”の絶対条件・交流人口の拡大

海外や中部以西からの誘客強化（航空旅客増加）

航空路線の大幅な拡充（既存路線増便＋新規就航）

仙台空港民営化

- ① 空港・関連施設の一体的経営，効率的設備投資で収益を改善
- ② 運営権者の判断に基づく柔軟・機動的な着陸料等の料金施策

二次交通を活用し、
観光客を東北全体へ行きわたらせる！

民営化後の主な動き（１）

平成28年7月 空港の民営運営開始（国管理空港第一号）

○航空路線の拡充

国際線	就航路線	民営化前	民営化後	新規就航・増便	
	仙台－ソウル	4往復/週	7往復/週	アシアナ航空増便(4→7往復)	
	仙台－台北	2往復/週	8往復/週	タイガーエア台湾新規就航(4往復)	
	仙台－ 上海・北京	2往復/週	2往復/週		
	仙台－グアム	2往復/週	2往復/週		
	国際線全体	10往復/週	19往復/週		

〈今後の動き〉

航空会社	就航時期	就航路線	
スカイマーク	H29.7.1	「仙台－神戸線」（2往復/日）	
ピーチ・アビ エーション	H29.9.24 H29.9.25	※ 仙台空港を拠点化 （国内3番目） 「仙台－札幌線」（2往復/日） 「仙台－台北線」（4往復/週）	(C) Peach

○二次交通の充実

民営化後、空港発着バスが**計4路線**開設

●福島・会津若松線 ●松島・平泉線 ●鶴岡・酒田線 ●山形駅線

民営化後の主な動き（２）

○施設リニューアル（平成29年4月20日）



1階国内線到着口東側イメージ 観光案内所／アライバルカフェ



1階国内線到着口西側イメージ インフォメーション／サービスカウンター

観光案内所

東北6県はもとより、地元市町村から海外まで、幅広い観光情報を提供

アライバルカフェ

昼夜様々な利用シーンに対応し、お客様に居心地の良い空間を提供

ランナーサポートスペース

空港の周辺でランニングなどを楽しみたい方や地元の方々に利用いただくための更衣スペース・シャワールームを提供

※ 出典：仙台国際空港株式会社プレスリリース

今後の課題（１） 運用時間の延長

交流人口拡大による地域活性化に向けて、
旅客増加を図るためには、
新規路線の誘致等による路線拡充が必要

そのためには、

航空会社のニーズに対応した
空港運営が求められる



早朝・深夜便就航にも対応できる
空港運用時間の延長
重要な課題



県は、航空会社や仙台国際空港（株）の意見を踏まえ、
地元との調整や国への運用時間変更手続を実施

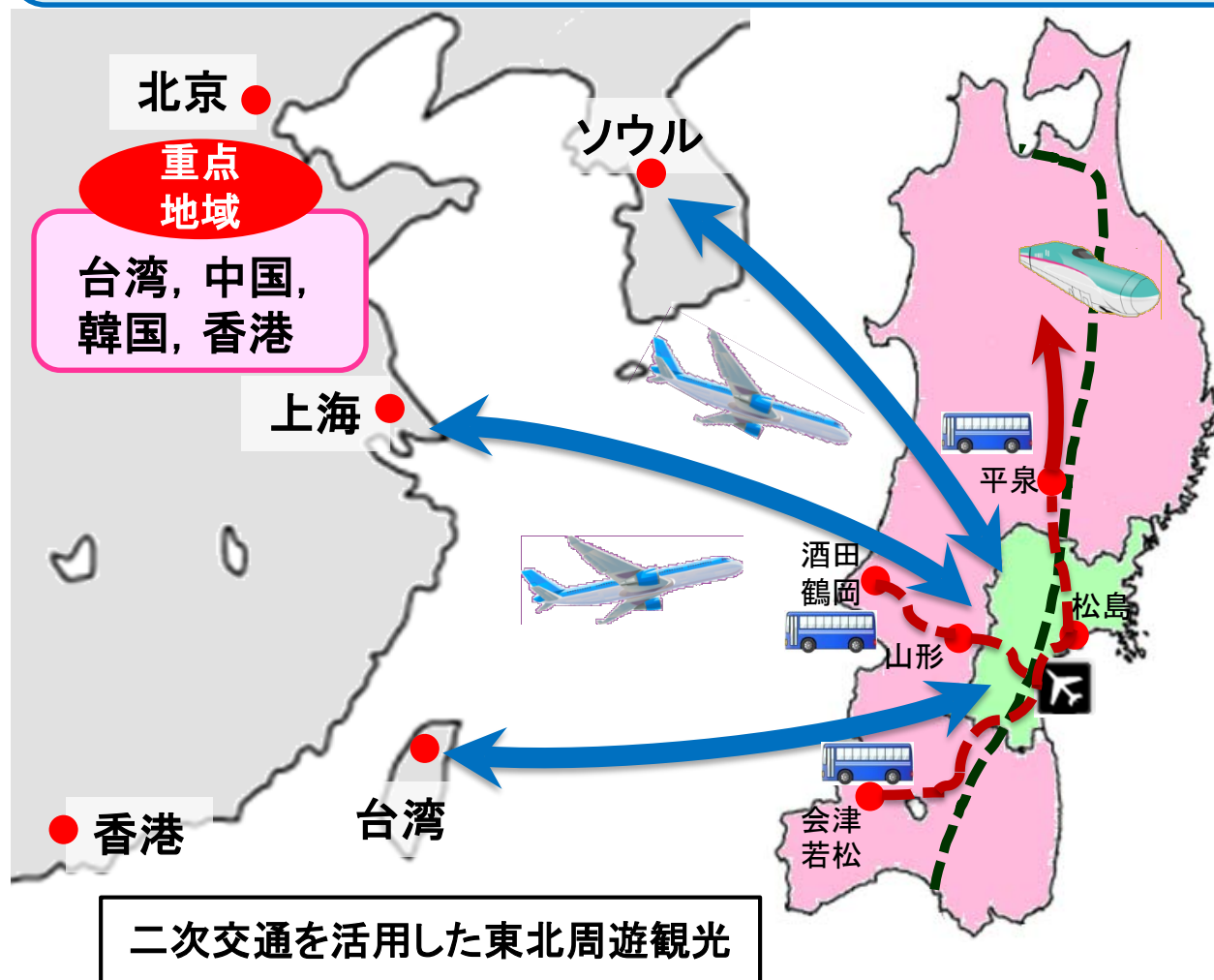


今後の課題（２）

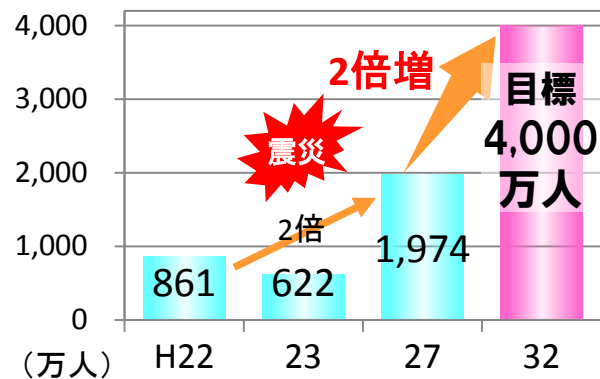
インバウンド・二次交通

○近年、訪日需要が急速に拡大しているが、**東北は取り残された状態**

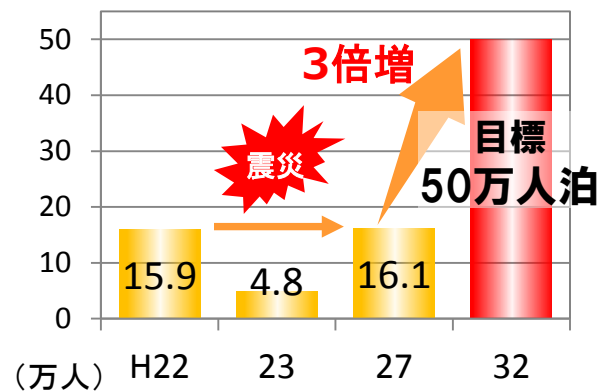
○仙台空港を拠点に**東北のインバウンドを促進**するためには、航空路線の拡充に加えて、**二次交通の充実・強化**が急務



国内訪日外国人旅行者数



県内外国人延べ宿泊者数





**宮城・東北の創造的復興の早期実現に向けて、
引き続き、御支援と御協力をお願いいたします。**